

本部別事業戦略



常務執行役員
インベストメント本部長
内村 裕也

インベストメント本部

2本部を統合した新体制のもと、エクイティを起点とした価値の共創を通じてさらなるビジネス拡大を目指す

旧インベストメント本部と旧トランスポーターション本部を統合した新本部として2026年4月に発足

エクイティを起点とした価値の共創を通じて、お客さまへ幅広いソリューションを提供

事業環境の変化を的確に捉えて、最適な事業ポートフォリオの構築・運営に取り組む

重点施策

- 1 海外インフラ投資：事業投資、AMビジネスへの推進（丸紅連携）
- 2 投資家ビジネス（JOLCO／JOL強化）：〈みずほ〉の顧客基盤を活用
- 3 航空機リース事業（Aircastle社）：周辺事業等のバリューチェーンを拡大
- 4 国内外クレジット投資：有力スポンサーとのネットワークを拡大

バリューチェーン拡大の方向性

従来の「モノ・リース」を起点としたファイナンス中心のビジネスにとどまらず、事業投資や投資家ビジネスに事業領域を拡大することにより、お客さまへのさらなる価値の提供と当社の企業価値向上に貢献してまいります。

- 案件ソーシング、専門人材によるエグゼキューション、事業知見を活かしたモニタリングを中心に丸紅との連携を深め、海外インフラ事業投資を拡大。さらに、中期経営計画2028期間中においてアセットマネジメント事業への参画を展望、インフラ投資資産の回転を図るとともに手数料ビジネスの拡大に注力
- 多様な投資家ニーズに応えるため、より多くのレシー顧客開拓や数多くの機体を保有するAircastle社との連携、丸紅との協働等を通じて、JOLCO・JOL商品を開発・拡充、〈みずほ〉連携強化でますます広がる投資家の皆さまに魅力ある投資機会を提供

「モノ・リース」起点としたファイナンスアプローチ



注力 海外インフラ事業投資

リソース

〈みずほ〉アドバイザー ファイナンス

〈丸紅〉専門人材 事業知見

注力

投資家ビジネス/ディストリビューション

資産回転

JOLCO／JOL

リスク認識と対応

- 国内外の株価や為替、金利の動向を注視し、当社資金調達コストや投資対象アセットへの影響を分析するとともに、案件特性やリスク分散を意識した事業ポートフォリオを構築
- 金融市場の流動性は、アセット価格、当社の資金調達能力やコストの両面から当社ビジネスに影響を与えることから、流動性・収益性の両面を意識した運営を実施
- 中東情勢等地政学リスクの高まりが物流や燃料価格等へおよびる影響を注視し、航空機・船舶や海外インフラ事業等へのビジネス影響をふまえた運営を継続

ビジネスピックアップ

2025年度より本格的に取り組みを開始した海外インフラ事業投資において、優良案件への参画に継続的に取り組んでいます。

欧州最大級の系統用蓄電池事業に出資参画

エネルギーインフラ分野への投資に特化したEIG Asset Management LLCが立ちあげた、欧州の系統用蓄電池プラットフォームであるFidra Energy Holdings Limited（以下、Fidra Energy）に出資参画しました。Fidra Energyは英国で合計3.1GW規模の系統用蓄電池プロジェクト3件を開発・建設中であり、2028年初めから順次運転開始を見込んでいます。

ドイツにおける住宅用ルーフトップ太陽光発電事業への出資参画

丸紅がスポンサーであるMM Capital Partners 2号株式会社、インフラファンドEquitix社（英国）、Keppel Infrastructure Fund Management社（シンガポール）と共同で、ドイツ再生可能エネルギー会社Enpal社が保有する住宅用ルーフトップ太陽光発電事業の持分90%を取得しました。本件は、太陽光発電設備・蓄電システム・EVチャージャー等で構成される発電・蓄電システムを、ドイツ国内の住宅約24,000戸に対して長期にわたりリース提供するものです。

英国系統用蓄電池事業完成予想イメージ図

